

令和5年度大学院看護学専攻「質的研究方法論」の授業を紹介します。

本学大学院実践者養成コース公衆衛生看護学、助産学、及び研究コースの大学院1年生が質的研究方法論を学びました。質的研究方法論とは、インタビューや参加観察などの手法を用いて質的データを収集し、対象者の視点に立ち現象を理解・分析する研究方法論です。本授業では、現象学、グラウンデッドセオリー法、エスノグラフィー、質的記述的研究法等、基本的な知識と手法を学修しました。今後、自分の研究テーマを進める際、自ら研究方法を修得します。まだ1年生ですが、研究意欲が高まりつつあるようです。

(担当教員：岩本・小林・岡田)

【GWの様子:担当メンバーが自分が調べた研究方法論を紹介、その後メンバーは関連文献の紹介と議論】

